

## (独) 海上技術安全研究所 国際会議報告

会 議： 国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）救命及び防火分科委員会（SC 1）救命作業部会（WG 1）コペンハーゲン会合

開催場所： デンマーク標準協会：デンマーク・コペンハーゲン

会議期間： 2015年1月28日～1月30日

参加国： オブザーバーとリエゾンを含む6カ国 計14名

海技研からの参加者：宮崎 恵子： 運航・物流系 運航解析技術研究グループ長  
国際連携センター併任

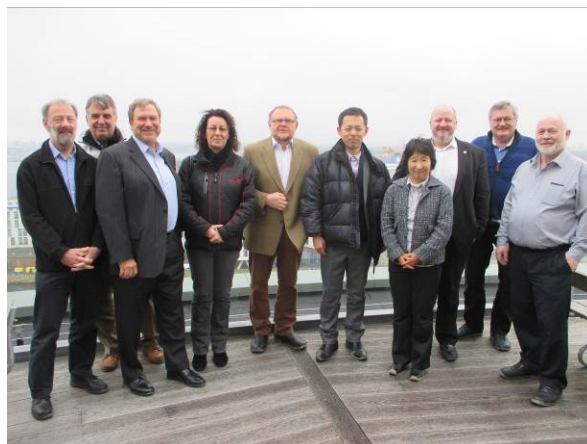
### 概要

国際標準化機構（ISO）船舶及び海洋技術専門委員会（TC 8）のうち、防火関係装置及び救命設備に係る規格について審議する救命及び防火分科委員会（SC 1）傘下の救命設備を扱う第1作業部会（WG 1）のコペンハーゲン会合に参加した。本会合は、年に1度実施されるTC 8/SC 1と同時開催のWG 1の中間会合である。

この会合では、DIS投票に向けて「膨脹式救命設備の整備－第1部から第5部」について審議した。また、「人員回収装置」「イマーション・スーツ及び耐暴露服の整備」の規格原案、「救命艇及び救助艇のためのシーアンカー」の規格改正原案について審議した。

### 主な貢献

宮崎は、プロジェクトリーダーとして、「膨脹式救命設備の整備－第5部－膨脹型救助艇」への意見に対応するとともに、「人員回収装置」の詳細検討の議論で、SC 1の決議外の事項が記載されている項目を削除するよう意見を述べ賛同を得た。また、「イマーション・スーツ及び耐暴露服の整備」の議論に参加するとともに、プロジェクトリーダーとして作成した「救命艇及び救助艇のためのシーアンカー」の規格改正原案を説明し、合意形成に努めた。



WG 1 コペンハーゲン会合最終日参加者

## 主な審議結果

### 1 ISO 18079 船舶及び海洋工学－膨脹式救命設備の整備

この規格シリーズは、膨脹部を有する救命設備の整備に関するもので、「第 1 部：一般規定」「第 2 部：膨脹式救命いかだ」「第 3 部：膨脹式救命胴衣」「第 4 部：降下式生存艇乗込装置」「第 5 部：膨脹型救助艇」からなる。本規格シリーズは、2 月 6 日から国際規格原案（DIS）投票に登録される予定である。今次会合では、基本的に内容の追加はせず、現在登録されている原案の文章の間違いの指摘と表現の明確化のための修正を行った。

### 2 ISO 19898 船舶及び海洋工学－人員回収装置

海上に落水した人を回収するための装置の要件の規格である。先の SC 1 及び同 WG 1 上海会合にはプロジェクトリーダーが参加しなかったため、本規格については、1 年前の WG 1 サザンプトン会合以来の本格的な審議を行った。サザンプトン会合では、提出された原案が 2013 年の SC 1 コペンハーゲン会合で合意された内容を逸脱していたため大幅な修正を行ったが、今次会合の原案も、構成が複雑で、曖昧な箇所や不必要な箇所が散見されたため、構成と内容の整理、内容と表現の修正をほぼ 1 日かけて行った。しかし、本原案の半分以上の見直しができなかったため、プロジェクトリーダーが文章を整理後、今次会合の参加者と関係者に送付し、残りの部分についての修正意見等をプロジェクトリーダー提出することになった。

### 3 ISO 19912 船舶及び海洋工学－イマーショ ン・スーツ及び耐暴露服の整備

ISO 18079 シリーズに続く、イマーション・スーツ及び耐暴露服の整備の基準の規格である。本規格も、先の人員回収装置と同様、1 年

ぶりの本格的な審議を行い、原案の前半の内容の明確化と表現の修正を行った。本規格もプロジェクトリーダーが文章を整理後、今次会合の参加者と関係者に送付し、残りの部分についての修正意見等をプロジェクトリーダーに提出することになった。

### 4 ISO 17339 船舶及び海洋工学－救命艇及び救助艇のためのシーアンカー

2013 年の SC 1 コペンハーゲン会合及び 2014 年の SC 1 上海会合での合意事項と、我が国の型式承認試験基準の両者を取り入れた改正原案を、宮崎はプロジェクトリーダーとして作成し、今次会合で改正の内容と理由の説明を行った。主な改正点の内、形状を制限する項目の排除には合意を得られたが、曳航速度の修正には合意を得られなかった。我が国の効力試験の基準を取り入れることについては時間の制限から議論されなかった。本規格改正原案の審議は 1 月 7 日に開始されたところなので、今後の会合で各国から改正原案への合意を得られるよう、プロジェクトリーダーとしてさらに準備をする。

### 5 今後の予定

次回の SC 1 及び同 WG 1 会合は、2015 年 5 月 26 日から 28 日にパナマにて、WG 1 中間会合は、2015 年 12 月 1 日から 3 日に米国ニューオーリンズで開催の予定である。